

第6学年1組「総合的な学習の時間(情報)」学習指導案

指導者 人吉市立西瀬小学校 教諭 池田 幸彦

1 単元名 『著作権を守ろう!!』(情報教育単元)

2 単元について

近年、情報化・国際化が急速に進展する中で、著作権に関する重要性が高まってきている。インターネットによって、誰もが情報発信できるようになり、小学校段階でも著作権教育への取り組みが求められている。

「新情報教育の手引き」では、ITを活用した授業を通して、教師が著作権に関する知識を身に付け、著作権について必要なことを教える配慮が必要であることをが示された。(文部科学省 2002)

また、文化庁では、平成14年度から3カ年計画で、児童生徒向けの著作権を楽しみながら学べるソフトウェアを提供し、著作権に関する知識を取得する機会をより一層拡大すると共に、教材を容易に入手する環境が整えられている。(文化審議会著作権分科会 2004)

著作権教育の内容は、情報教育の目標にある「情報社会に参画する態度」の内容の一部であり、本単元での著作権教育では、総合的な学習の時間において、情報活用能力の育成と関連づけながら、児童の著作権感覚の向上と自ら考え行動できる態度の育成をめざしていきたい。特に、著作権に関する知識を単に教えるのではなく、実践力や態度面を重点的に指導して、著作権感覚をバランスよく育成するように配慮し、児童が楽しく学べるようにコンテンツを活用しながら、児童の著作権に関する意欲と実践力を高められるように指導していきたい。

3 児童の実態(男子14名、女子10名、合計24名)

本単元における学習内容について、児童への実態調査を4段階評定で実施した。その結果、『友達の図工の作品などは大切にしている』と答えた児童は平均3.5と高く、目の前にいる友達に対しては、その作品などを尊重しなければいけないことは理解しつつも、『友だちの作品をまねて発表してもよいか』という質問には平均1.29と非常に低い結果となった。このことは他人の作った作品を大切にすることがどういう意味かを理解していないことのあらわれだと考える。この単元を通して、作品を作った人の気持ちや苦勞・工夫点に気づき、よく考えて行動できる態度を養っていきたい。

情報モラルや著作権については、1学期に体験的な学習を通して、著作権(複製権や例外規定)、著作物の種類などの基礎的な内容を学習している。また著作権の学習のまとめとして、前時までに著作権クイズを作成している。

4 指導・支援にあたって

本単元での指導・支援にあたっては、以下のことに留意して進める。

引用や使用許諾について知り、自分の情報発信（ホームページ作り）に生かすようにする。

これまで学習したことについてプレゼンテーションソフトを用いて、クイズとしてまとめるようにし、お互いの発表内容を知らせる発表会を開くようにする。

プレゼンテーションの作成にあたっては、伝えたい点が明確であることを指導し、デザインや装飾に時間がかからないようにする。

文化庁のコンテンツや著作権情報センターのコンテンツを活用して、自分の課題に応じて、著作物や著作権の基礎知識を身につけるように学習を進められるようにする。

5 単元の目標

体験的学習を通したり、コンテンツを活用して、基礎知識を学習し、著作権や著作物を大切に
にする態度を養う。

<関連する情報活用能力>

コンテンツを活用して、資料を収集し、プレゼンテーションソフトを活用することができる。

（情報活用の実践力）

情報の正確さや大切さを考え、著作権を守ろうとすることができる。（情報社会に参画する態度）

正しい引用の仕方を知り、情報発信に生かすことができる。（情報社会に参画する態度）

6 指導計画（全6時間 本時は、6 / 6時間目）

| 時 | 小単元名 | 指導内容 | 備考 |
|---|--------------------------------|--|-------|
| | 著作権って何だろう？ | CDや本、絵画などの著作物を身の回りから見つけ、著作権を大切に する態度を養う。 | 1学期実施 |
| | 守ろう！著作権 ～違法コピーとデジタル 万引き～ | 違法なコピーやデジタル万引きに ついて知り、著作者の心情を考え ることができる。 | 1学期実施 |
| | 著作権クイズを作ろう！ | 著作権についてわかったことをま とめ、クイズを作成して著作権に ついて理解を深める。 | 2学期実施 |

7. 本時について (本時は、6 / 6 時間目)

(1) 目標

著作権についてわかったことをまとめ、クイズを作成して著作権について理解を深める。

(2) 展開

| 過程 | 時間 | 学 習 活 動 (予想される児童の反応) | 指導上の留意点・評価について |
|---------|-----|---|--|
| つかむ・見通す | 5分 | 1. 学習のめあてについて、確認する。 2. 著作権クイズの準備をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習シートにめあてを書かせる。 ・著作権についての学習を想起させる。 ・著作権クイズの発表会をすることを伝え、準備させる。 |
| まとめる | 25分 | 3. 著作権クイズをする。 ・初級編(4班) ・中級編(2班) ・家庭編(5班) ・会社編(1班) ・上級編(3班) | <ul style="list-style-type: none"> ・5つの班ごとに発表する。 ・各班テーマごとに3～4問ずつ出題する。 ・解答者はクラス全員または参観者の先生方とする。 ・進行は各班で進める。 |
| 深める | 15分 | 4. 著作権について学習シートにまとめる。 (1) 著作権についてまとめる。 ・著作権を守るために気をつけることを考える。 ・作品を自由に使えるときを考える。 (2) 著作権フリーについて知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・著作権について学習したことをプレゼンで示しながらまとめ、著作物が自由に使える場合と著作権を守るために大切なことをシートに整理する。 ・著作権フリーについてふれ、著作権フリーが著作権を放棄したことでないことを補足的に説明する。 |

学習状況(B)
著作権の大切さがわかり、著作権クイズを発表することができる。

学習状況(A)
著作権を守るために必要なことや著作権が自由に使える場合を的確に理解できている。